

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年1月26日

【評価実施概要】

事業所番号	3271700084		
法人名	認知症対応型共同生活介護事業所しおさい		
事業所名	社会福祉法人 仁摩福祉会		
所在地	島根県大田市仁摩町仁万843番地 (電話) 0854-88-9141		
評価機関名	NPOしまね介護ネット		
所在地	島根県松江市白潟本町43番地		
訪問調査日	平成21年1月14日	評価確定日	平成21年3月1日

【情報提供票より】(20年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成11年11月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	8 人	常勤4 人, 非常勤4 人, 常勤換算6.4 人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート平屋造り		
	1 階建ての	1	階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	16,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	230 円	昼食 460 円
	夕食	410 円	おやつ 円
	または1日当たり		円

(4) 利用者の概要(12月1日現在)

利用者人数	6 名	男性 0 名	女性 6 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名
要介護3	0 名	要介護4	2 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85 歳	最低 78 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	須田医院 大田市国民健康保険仁摩診療所 大田市立病院泉 泉歯科医院
---------	-----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域の中で福祉の担い手としての役割を持っている法人の事業所で、地域に出かけることと利用者の今持っている力を維持することに力を入れ、利用者一人ひとりの人生を大切にされた対応を心がけている。利用者は、みんなで好きな歌を歌ったり、ボランティアと一緒に「書」を楽しみ、入居してからちぎり絵を楽しむようになった利用者もあり家族から喜ばれている。職員は利用者の行動を見守り穏やかに利用者に接している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	課題についての具体的な改善方法を法人に提出し一緒に検討している。「地域向け広報誌の発行」は法人の機関紙に事業所の様子を載せる取り組みが始まっている。他の課題は継続して検討されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	計画作成担当者は4月から担当になったところで今回が初めての自己評価だったが、日勤帯の職員と話し合いながら評価を行った。課題に対しどう取り組んでいくか検討している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	入居者の状況や活動を報告し出席者と意見交換を行っている。出席者から利用者の生活について質問が出されたり、利用者の家族への深い思いをケアに活かすための提案があり今後活かすことになっている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	運営推進会議や家族交流会、来訪時などに意見を聞いている。家族から受診付き添いについて希望が出され、家族の事情によっては臨機応変に対応するようになった。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	文化祭や祭りなどの地域行事に参加したり、散歩や買い物などを通し交流を図っている。ボランティアや小学校、保育園との交流や研修医の受け入れなど積極的に行っている。自治会加入を検討している。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「現在の生活を障害なく暮らしていた時の延長線上に限りなく近づけるように」その人らしさを失わない支援を内容とした理念を掲げている。	○	地域密着型としての実践に努められているので、その実践が理念に反映されることを望みたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者一人ひとりのケアに理念が活かされるように、申し送り時や月1回のミーティングで話し合っている。	○	契約書などの文書に利用者の権利を明示していただきたい。文書類に文言の不統一がみられるので見直しが見られる。
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	文化祭や芸能発表会、祭りなどの地域行事に参加したり、ボランティア、保育園児との交流、研修医の受け入れなどを行っている。自治会への加入を検討している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	計画作成担当者が書き込んだものをもとに日勤帯の職員で話し合い評価を行った。外部評価の結果はミーティングで報告し課題に向けて検討している。	○	評価を年間計画に位置づけ、時間をかけて全職員で話し合いを重ねながら取り組まれることを望みたい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況や活動を報告し質問を受けたり意見交換をしている。出席者から、利用者の家族への思いを実践に活かすために具体的な提案があり、今後ケアに活かすことになっている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	法人は地域の中で様々な福祉を推進していて市町村との連携がとられている。市のグループホームの部会に参加し担当者と情報交換をしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に便りを発行し一人ひとりの様子を写真やメッセージを沿えて報告している。面会時や電話での報告も行い健康状態についても毎月報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族交流会で意見を聞いている。運営推進会議への家族の出席は多い。受診時の付き添いの件で要望が出され、家族が困難な時は職員が対応するようになった。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職があった時には、新しい職員は利用者きちんと挨拶をし受け入れてもらうようにしている。	○	利用者や家族との馴染みの関係を重視し、異動、離職を最小限に抑える配慮をお願いしたい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内研修や外部研修に参加し内容を共有している。さらに研修の機会を増やしたり、資格取得の支援を行うために研修計画の見直しが行われている。	○	研修計画の見直しが検討されているので今後期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者や職員は市のグループホーム部会に参加し勉強会や情報交換を通じ交流を行っている。	○	グループホーム部会でのネットワークを活かし、他の同業者と相互訪問をするなど研修の機会を増やしていただきたい。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者や家族に見学してもらい環境に馴染めるように柔軟に対応している。顔なじみの民生委員と一緒に見学する人もいる。デイサービス利用者が入居することが多い。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	野菜の切り方や生活の知恵を教わっている。利用者の得意なことを活かし、ちぎり絵などの作品が出来上がった時は一緒に喜びあっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃一緒に行動する中で利用者の思いを知り、ケース記録に書きとめ職員全員で共有している。一人ひとりの行動の原因を探り思いの把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日頃の関わりの中で利用者の希望を聞いたり、家族の訪問時に希望を聞き計画に反映させている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月ミーティングで話し合い計画の見直しをしている。利用者の状態や希望に応じて随時見直しをしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の希望に柔軟に対応することに努めている。協力医療機関の看護師や併設事業所の看護師の協力を得ながら健康管理を行っている。	○	医療連携体制の強化など、さらに多機能性を活かした支援ができるように検討されているので是非実現させていただきたい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族が納得したかかりつけ医の支援をしていて定期的に往診がある。状態によっては夜間対応もしてもらっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者や家族の意向を確認しながらかかりつけ医と話し合い対応している。看護職員はいないが、ホームとして最大限の努力をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	利用者の尊厳を傷つけないように排泄の誘導はさりげなく行い、利用者一人ひとりにあつた声かけや対応をしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活のペースを尊重し、昼寝や食事、おやつの時間など柔軟に対応している。その人らしい個別支援を心がけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力を活かし調理や盛り付け、配膳など職員と一緒にいる。職員は同じ物を食べていた時もあるが今は弁当を持参している。	○	グループホームの特性から職員も利用者と同じ物を食べるのが望まれる。同じ物を食べる回数を増やしたり検食を取り入れるなど検討が望まれる。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴、清拭、シャワー浴など取り入れながら、利用者の希望を確認して支援している。職員体制の関係から時間や曜日が決められることがある。	○	体制上困難なこともあるが、利用者主体の支援となるよう検討を重ねていただきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事作りやちぎり絵、書、銭太鼓、カラオケなど利用者の得意なことが活かせる場面がある。利用者は皆と一緒に過ごすことが多く好きな歌を楽しんでいる。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩やドライブ、買い物、外食など、利用者の希望に沿うよう支援している。個別の外出希望には勤務を調整し対応したり家族に協力を求めることもある。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は自由に入出入りすることができる。法人の他の事業所とは廊下伝いにつながっていて自由に散歩している。外出願望のある人には同行している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	法人としてのマニュアルがあり、研修や避難訓練を定期的に行っている。	○	運営推進会議などで話し合い地域との合同訓練なども計画していただきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を把握し記録している。利用者の体重をチェックしながら食事内容に気をつけている。野菜や乳製品を多く取り入れている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	こたつやソファなど自由に過ごせる場所が沢山ある。低い調理台がホーム全体を優しい雰囲気にしていて利用者が使いやすい。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	鏡台や筆筒、時計、人形など、利用者の思いで持ち込まれ、ちぎり絵などの作品を飾っている。畳を敷いている人もいる。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。